

# 漁船の衝突・乗揚事故に注意！！

## 衝突・乗揚事故を防止するために

### 常に見張りの徹底を

操業中は作業に没頭し、**見張りが疎か**になりがちです。常に**適切な見張り**を励行しましょう。

### 居眠りに注意

操業後の疲労により、航行中は**居眠りに陥りやす**くなります。乗組員が2人以上の場合は見張りを**交代し休息を取る**、**居眠り防止装置を使用**するなどの対策を講じましょう。

### 自動操舵使用時は注意

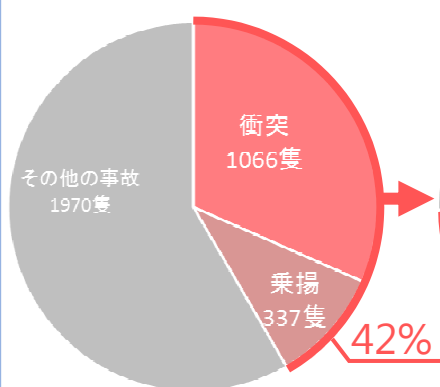
漁船事故の特徴の1つとして「**自動操舵**」**使用時の事故**が挙げられます。その原因は「見張り不十分」「居眠り運航」が多数のため、自動操舵装置付属の**アラーム装置の導入及び利用**を心がけましょう。

また、次のような場合は、**手動操舵**に切換え、安全に操船しましょう。

- ①港内 ②船が多い海域 ③荒天時、視界不良時 ④周囲に浅瀬等がある場合
- ⑤潮流が強い狭水道 ⑥他船が接近するとき ⑦針路を変えるとき

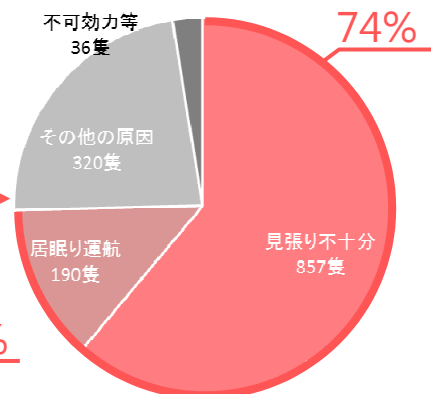
## 過去5年間における漁船事故の特徴

○ 漁船事故の種類



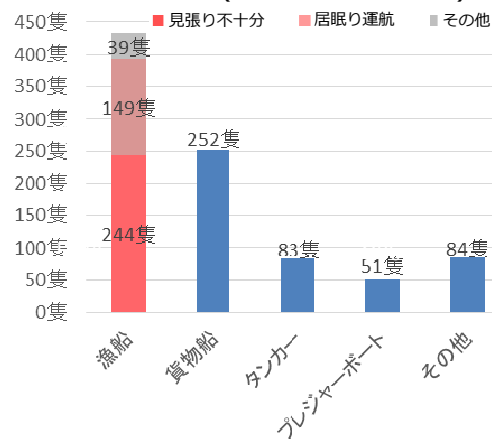
※衝突、乗揚が **約4割**

○ 衝突・乗揚事故の原因



※見張り不十分、居眠り運航が **約7割**

○ 船種別「自動操舵」使用時の事故隻数 (衝突、乗揚に限る)



※漁船の「自動操舵」使用時の事故が多く見張り不十分、居眠り運航が **約9割**

(事故原因とその要因例)

**見張り不十分** ⇒ 操業中や漁獲物選別作業などに没頭し、見張りが疎かになる

**居眠り運航** ⇒ 帰港中、操業後の疲労により集中力が低下し居眠りに陥る